

## 令和2年度 第1回 美濃市総合教育会議 会議録

### 1 開催日時

令和2年5月11日（月）午前11時00分～午後0時05分

### 2 開催場所

美濃市防災中央コミュニティセンター2階大会議室

### 3 出席者（構成員）

市長（議長）	武藤鉄弘
教育長	樋口宜直
教育委員	中島正憲
教育委員	市原慶子
教育委員	別府徹也

### 4 事務局

教育次長	井上博司
教育総務課長	曾貝和人
学校教育課長	武井由典
秘書課長	高橋保雄
秘書課課長補佐	島田勇人

### 5 報道関係者・傍聴者

報道関係者 0名 傍聴者 0名

### 6 会議事項

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 教育長あいさつ
- 4 会議事項  
○学校再開に向けての方向性について

### 7 会議録＜開会 午前 11:00 閉会 午後 0:05＞

発言者	発言内容
秘書課長	定刻となりましたので、ただいまから令和2年度第1回的美濃市総合教育会議を開催いたします。はじめに武藤市長がごあいさつ申し上げます。
市長	みなさん、こんにちは。急遽、開催させていただくこととなりました。内容は8日に県の対策会議で学校の再開に向けた方向性が示されたことを受けて、美濃市としてどういう形で学校を再開すべきか方針をまとめましたので、皆様のご意見を伺いながら、安全に学習環境を整えていきたいということで開催させていただきました。よろしくお願いします。
秘書課長	次に樋口教育長、ごあいさつをお願いします。
教育長	本日の総合教育会議どうぞよろしくお願いします。 市長からあったように、学校再開に向けて、市としてどういう方向性をもっていくかということがテーマとなります。後程資料等で説明させていただきますので、ご意見賜れればと思います。
秘書課長	ここからは、美濃市総合教育会議設置要綱第4条に基づいて市長が議長となりますので、会議の進行をお願いします。
市長	それでは、要綱に基づき、議長を務めさせていただきます。 資料【県の「基準指標」】を説明。その基準について、現在8日間にわたり、すでにクリアしているなかで、5月14日に開催される国の専門家会議を受けて県として対応を行うこととしています。 本日は、県の方向性や市の考え方を報告・説明させていただき、学校の再開に向けて、委員の皆様から意見等をいただきたいと考えておりますので、よろしくお願いします。 それでは、教育長から県が示した方針を報告させていただきます。
教育長	県及び市の方針について、別紙資料により説明 ・資料1「関係者ヒアリングの結果について」及び「教育現場の当事者からのヒアリング結果」について説明する。 ・資料2-2「6月1日の学校再開に向けた対応(案)について【公立小・中学校】」及び「学校再開に向けた段階的取組」について説明する。 詳細については、学校教育課長より説明させていただきます。
学校教育課長	・資料「6月1日(月)からの学校再開の手順」を説明。 概要 学校再開の見通しとして3段階で考えている。

	<p>第1段階 5月25日(月)～5月29日(金) 2日間の自主登校日を設定(学級を2つに分けて、分散登校)</p> <p>第2段階 6月1日(月)～6月12日(金) 給食なしの分散登校(学級を2つに分けて、午前と午後の分散登校)</p> <p>第3段階 6月15日(月)～ 給食ありの通常再開(県の対応に準じた通常再開を実施) ※県の対応については、5月15日(金)に示される予定 以上です。</p>
市長	<p>ありがとうございました。</p> <p>例えば、13人ほどのクラスを2つに分けるのかとか、登下校時の安全対策とか、夏休みの短縮とか、色々なご意見があるかと思いますが、いかがですか。</p>
中島委員	<p>6月1日からの分散登校は、学習体制に慣れさせるということですが、授業を行うのですか。</p>
学校教育課長	<p>行います。小学校と中学校では違ってきますが、2～3時間は行えると思います。内容については学校の方で工夫しながら行っていく予定です。家庭学習もあるので、その指導についても行っていきます。</p>
中島委員	<p>今、家庭学習について格差が出来てきていると聞きますが、帰ってからの家庭学習の指導というのは、オンライン学習やドリルといったものを指導されるのですか。</p>
学校教育課長	<p>学校が始まり、教師が指導出来るようになりますので、通常の家に戻って学習するというスタンスとなります。</p>
中島委員	<p>新学期が始まるという形になるわけで、今までやっていない部分を補填されていくのですか。やっている子とやっていない子との差がついているのでは。</p>
学校教育課長	<p>新しい内容については、学校では最初から教えるので、やっている子について予習をしていることになりプラスαという捉え方となります。</p>
中島委員	<p>どこの親に聞いても早く学校を始めて欲しいという声がありますので、なるべく早く進めてもらえればと思います。保護者の中には感染について心配されている方もみえるので対策をしっかりと、保護者を安心させて</p>

	<p>いただけるとありがたいです。</p>
別府委員	<p>午前、午後の2つに分けた場合、例えば午前の生徒達が終わった場合すぐに帰らずに、誰々に会いたいといったことで残られると感染リスクが高まるということも考えられるので、先生方には、そういったことについても配慮願えると助かります。あと、この間の動画配信について、親さんからの意見はありますか。</p>
学校教育課長	<p>他市の場合ですと知らない先生が動画配信を行っていることがあるので、担任の先生がやっているのがうれしかったという意見がありました。あと、それぞれの先生が工夫していて楽しいという意見もありました。</p>
別府委員	<p>今朝の新聞で、海外でマスクをして体育の授業を受けていた生徒が倒れたとの記事がありましたが、マスクをして走れということはないとは思いますが、色々なことに気をつけながら学校を再開していただきたいと思います。</p>
学校教育課長	<p>国や県からも、音楽の合唱や体育などについては、取扱いについて考慮するようにとの指導があり、時期をずらすなどの対応を考えています。</p> <p>あと、13人ほどの少ないクラスについては、学級自体では人数が少なくても、登下校やスクールバス、玄関などの校舎の規模を考慮すると、教室のみでなく色々なところで密を作らないことが重要であると考え、市内全体でクラスの人数が少ない場合でも分散登校することとします。</p>
別府委員	<p>スクールバスの運転手さんも含めた感染防止対策はどうですか。</p>
学校教育課長	<p>名簿を作成し、綿密な打ち合わせを何回も行いながら、密がないようにしていきます。また、スクールバスの消毒、運転手のマスクの着用について徹底します。</p>
市原委員	<p>スーパーとかで、駐車場の車の中にいる子どもを見かけますが、お母さんが買い物している間待っており、学校で言われた注意をよく守っているな、コロナウイルスの怖さを認識しているなど感じています。</p> <p>3カ月もの間、学校に行けなかったということは、すごいことで子どもたちの心理状況や体の変調などが気掛かりで、心と体のケアをお願いしたいです。</p>
武藤市長	<p>何か心配事はありますか。今年の学年だけが、通常と異なる形での1年</p>

<p>中島委員</p>	<p>間を過ごすこととなります。特に小6、中3、高3など節目の学年となりますが何かありますか。</p> <p>そのあたりをこれからどのようにカバーしていくのか、夏休みをどうするのか、この3カ月の学力をどう補填するのかについては、これからなのかなと思いますが、とりあえず今は学校に慣れさせることが大事なのかなと思います。</p> <p>たまに外で数人が集まって活動している（スポーツ少年団関係？）のを見かけるが、やっている子とやっていない子との差ができるのではないのか、今後、ちゃんと体力や学力の差を補填していけるのかどうか気がなります。</p> <p>あと、親は大丈夫なのかと心配しています。家庭の中のことなので見えてきませんが、親子関係とか大丈夫なのかなと。先生が各家庭の状況について把握していることはありますか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>小学校と中学校とは状況が違いますが、中学校ではコロナウイルスの関係がどうかというよりも、言うことを聞かないとか、親子関係や子育てについて、学校が再開されれば学校も関わってもらえるので、早く再開して欲しいとの意見があり、小学校については、一緒に散歩したり、各家庭内で工夫をして対応しているなど感じました。また、心配を煽るような報道が多いため過剰に心配しているところもあるとのことでした。</p>
<p>中島委員</p>	<p>そういう現状を把握しながら再開していくわけで大変なことだと思いますがよろしくお願いします。</p> <p>先日スーパーで大きな声で叱っているお母さんがいたので、あんなのが家庭でも続いていたらえらいことだと思います。</p>
<p>別府委員</p>	<p>最近、中学生が体力づくりの為に人があまりいない時間にランニングしているのよく見かけます。</p> <p>子どもたちとこれから受験がどうなるかとか心配していますが、あまり聞き過ぎて、心配を煽るようではいけないので、聞かないようにしています。</p>
<p>中島委員</p>	<p>登校について、スクールバスはいいんですけど、いくら分散登校で半分とはいえ、通学班となると密を防ぐことができるか心配ですし、中学生は集団登校ではないですけど、数人でまとまって歩いている所を見かけるので、子ども達に意識を持たせるのが大事かなと思います。あと、もし感染者が出たとしたら、いじめとかに注意して欲しいと思います。大人でも何</p>

<p>市長</p>	<p>となくそういったところがあるので。</p> <p>今、留守家庭児童教室を利用している人数は17人で保育園や幼稚園は20人ほど聞いており、もともと家庭で保育できる方がいたのかなと思ってしまいます。本当に必要だったのかどうか疑問に感じることもあります。報道にあるような職を失ったとか、売上が減って、食べていくのもままならないといったような方が多く出ているというようなことは、美濃市については、今のところなっていないような気がします。</p> <p>一人親のところに、給付金を出す自治体もありますが、一人親だから苦しいだろうではなく、一人親であろうと両親がいようと苦しいところに支援するのが本来ではないかと考えています。</p> <p>また、週末も相談窓口を開いていますが、明日食べていくのも厳しいといった相談は2、3件程で、このうちコロナの影響のものはありませんでした。報道等でみる都会の状況と田舎の状況は違うのかなと感じています。</p> <p>市でもコロナの関係で色々な対応をしていますが、学校関係でいくと、全学年に家庭学習用のテキストやドリル、給食用の牛乳を配布しました。</p> <p>また、外出自粛で、3食すべて家庭で食べることから栄養面で心配に感じたり、親さんの負担軽減も考え、5月から給食の献立メニューのレシピを配布すると、市内の飲食店に協力してもらい、学校給食と同じメニューの弁当を500円で販売することを考えています。</p> <p>子どもから子どもへの感染はほとんどないということなので、感染するとしたら親から子どもへの可能性が大きいことから、保護者の感染予防が一番大事なのかなと思います。</p> <p>なお、今回のコロナ対策はスピードが大事なので何かあったら、すぐに対応できるようにしていきたいと思います。</p>
<p>秘書課長</p>	<p>それでは、以上で第1回の総合教育会議を閉会といたします。 慎重なご協議をどうもありがとうございました。</p>

## 令和2年度 第2回 美濃市総合教育会議 会議録

### 1 開催日時

令和2年5月19日（火）午後1時30分～午後2時40分

### 2 開催場所

美濃市防災中央コミュニティセンター2階中会議室

### 3 出席者（構成員）

市長（議長）	武藤鉄弘
教育長	樋口宜直
教育委員	市原慶子
教育委員	中島正憲
教育委員	別府徹也
教育委員	長瀬秀子

### 4 事務局

教育次長	井上博司
学校教育課長	武井由典
人づくり文化課長	西村 斎
秘書課長	高橋保雄
秘書課課長補佐	島田勇人
教育総務課総務係長	筒井沙奈美

### 5 報道関係者・傍聴者

報道関係者 0名      傍聴者 0名

### 6 会議事項

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 教育長あいさつ
- 4 会議事項
  - 小中学校の再開と新型コロナウイルス感染防止対策について
  - 社会教育施設の開放と新型コロナウイルス感染防止対策について

7 会議録<開会 午後 1:30 閉会 午後 2:40>

発言者	発言内容
秘書課長	<p>定刻となりましたので、ただいまから令和2年度第2回的美濃市総合教育会議を開催いたします。はじめに武藤市長がごあいさつ申し上げます。</p>
市長	<p>みなさん、こんにちは。第2回の教育総合会議となりますが、子どもに対する教育環境をどのようにあたえていくのかということについて、今大きくクローズアップされております。このことについて、皆様にご説明させていただき、出来るだけ早く通常の学校生活をおくれるようにしたいと思っています。学校再開について、県としては、6月1日からの分散登校、6月15日からの通常登校を岐阜県内あわせて行うこととし、その方法については、各市町村にあわせたやり方で行うこととなりました。そのことを踏まえ、教育委員会で原案を作りましたので、その説明をし、最終決定したいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>あわせて、別紙「美濃市の新型コロナウイルス感染症対策事業一覧」について説明。これについては、近いうちに全世帯に配布する予定です。色々な事業があるため、市民の皆さんに周知していただくようにご協力願います。</p>
秘書課長	<p>次に樋口教育長、ごあいさつをお願いします。</p>
教育長	<p>5月11日の第1回の総合教育会議に引き続いて、本日2回目ということでよろしくお願いいたします。</p> <p>5月15日に県教育委員会より学校再開に向けたガイドラインが出されました。市教育委員会としての取組みはどうであったか、そして今後どのようにしていかなければならないのかを対比できるように資料を作成しましたので、後程学校教育課長より説明させていただきます。</p> <p>前回の総合教育会議では、子どもたちの感染予防ですとか学力、そして心や体のケアについてどうなのかといった意見もありましたので、それについてもあわせてご説明させていただきます。</p> <p>また、社会教育関係についても、学校教育と密接なつながりがあることから、人づくり文化課長からご説明させていただきますので、ご意見いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
秘書課長	<p>ここからは、美濃市総合教育会議設置要綱第4条に基づいて市長が議長となりますので、会議の進行をお願いします。</p>
市長	<p>それでは、要綱に基づき、議長を務めさせていただきます。</p>

<p>学校教育課長</p>	<p>早速ではございますが、会議事項の「小中学校の再開と新型コロナウイルス感染防止対策について」説明いただきます。</p> <p>それでは、小中学校の再開と新型コロナウイルス感染防止対策について」説明させていただきます。</p> <p>昨日臨時の校長会議を開催し、その中で児童、保護者の様子についてどうか確認しましたが、取り立てて報告しなければならないようなことはありませんでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料「学校再開に向けての取組」、資料「岐阜県が示した再開ガイドラインと美濃市教育委員会の対応との比較」及び資料「学校再開前チェックリスト」について説明する。</li> </ul>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございます。なかなか理解するのが大変ですが、再開にあたって心配な点、若しくはこうしたらいんじゃないかということがございましたらご意見いただければと思います。</p>
<p>中島委員</p>	<p>これだけのことを短期間にやらなければならないといったことで、大変なことだったでしょうが、子どもたちについては、とりこぼしのないようにしていただけたらと思います。</p>
<p>市原委員</p>	<p>本当にこれだけのことを短期間にやっていただいてありがとうございました。子どもたちは長い間休んでいて、急に学校に行かなければならなくなるということで、コロナ以外での体調管理やメンタル的な部分も配慮していかななくてはならないと思いますが、よろしくお願いします。</p>
<p>長瀬委員</p>	<p>3カ月学校が休校で、本当にもう限界というところにきていましたが、教育委員会からこまめにメールでお知らせが来ていたので、ありがたいと感じていました。最初の1, 2カ月は家庭学習や運動をさせていましたが、3カ月目に突入すると、テレビやゲームが多くなってしまい、学校が再開した時に心配なことは、学校生活に慣れて不登校にならず、毎日元気に学校に行けるかどうか、リハビリみたいなところが本当に必要なかと思っています。慣らす意味でも、3段階での再開はいいなと思います。6月15日の通常再開に向けて、じっくりやっていただけたらと思います。</p>
<p>別府委員</p>	<p>子どもたちは、体温チェックを毎日やっています。テレビやゲームをしている時間が長くなって、寝る時間が遅くなり、朝起きるのが遅くなるといったことがありますので、学校のある生活リズムを戻すことが子どもたちにとって大変なんだろうなと感じています。そういった意味でリズムを</p>

	<p>戻すことを優先にやった方がいいのかなと思います。</p>
市長	<p>ありがとうございました。</p> <p>登下校時の安全見守り隊について、朝と帰りやっていただいています が、分散登校時は1日2回になりますが、何か考えていますか。</p>
学校教育課長	<p>学校の方から、各地域ぐるみで見守りをしていただけるように働きかけ をさせていただく様にはしています。</p>
市長	<p>やると決まったわけではないのですね。</p>
学校教育課長	<p>ボランティアの方ですので、ご都合を聞きながらと思います。</p>
市長	<p>そうであれば、同報無線を使って見守ってもらうようなアナウンスをし たらどうですか。</p>
中島委員	<p>過去に、同報無線を使ったらどうかという話があった時に、逆に不審者 にお知らせしていることになり、それでは危ないといった意見もありまし た。</p>
長瀬委員	<p>分散登校だと、本当に1,2人になってしまいます。不審者については 心配です。</p>
市長	<p>なんかやってもらった方がいいんじゃないですか。</p>
学校教育課長	<p>登下校については、なるべく分団をまとめるようにしたり、1年生だけ でなく6年生も一緒に下校する様学校で工夫をしているので、心配なこと がありましたら学校に相談して下さい。</p>
長瀬委員	<p>まとまって下校しても、途中で1人抜け、2人抜けと奥に行く程、人数 が少なくなっていくので、同報無線があると安心かもしれません。</p> <p>始業式、入学式をやっておいて本当によかったなと思っています。担任 の先生の顔がわかって安心しました。</p>
学校教育課長	<p>学校によって下校時刻が違ってきますので、学校によってメールでお知 らせするなどの対応をしたいと思います。</p>
市長	<p>それでは、こういった形で進めていきたいと思います。</p>

人づくり文化課長	<p>つづきまして、スポーツ・文化活動に関し「社会教育施設の開放と新型コロナウイルス感染防止対策について」説明いただきます。</p> <p>・資料「公共施設の開館情報」について説明する。</p>
市長	<p>ありがとうございました。公共施設については、原則として3段階で開館していくということでございます。</p> <p>高齢者の方々が活動したいけれどする場所がないと困ってみえるので、なるべく早くそういった活動の場を提供できるようにしたいと考えています。</p> <p>当面、市民限定ということですが、どこで判断するのですか。</p>
人づくり文化課長	<p>登録団体の方が使用される場合が多いので、そこで確認できますし、市外の方については、受付の段階で確認し、名簿を提出してもらうこととしています。</p>
市長	<p>何かご意見ありますでしょうか。</p>
長瀬委員	<p>それぞれの施設にあわせた対応でいいと思います。「図書館を利用される皆さまへ」で、長時間の利用は控えてといった表現ですが、具体的な数字、例えば1時間とか入れた方が良いのではと思いますが。</p>
市長	<p>表現については、抽象的ではなく、なるべく具体的書いてください。</p> <p>その他、事務局から何かありますか。</p>
教育次長	<p>家計急変学生等支援助成金について説明。困ってみえる方が近くに見えたら、ぜひ、ご案内いただければと思います。</p>
市長	<p>何かご質問等ありますか。</p>
秘書課長	<p>それでは、以上で第2回の総合教育会議を閉会といたします。</p> <p>長時間のご協議をどうもありがとうございました。</p>

## 令和2年度 第3回 美濃市総合教育会議 会議録

### 1 開催日時

令和2年9月25日（金）午後1時30分～午後2時40分

### 2 開催場所

美濃市防災中央コミュニティセンター2階大会議室

### 3 出席者（構成員）

市長（議長）	武藤鉄弘
教育長	樋口宜直
教育委員	市原慶子
教育委員	中島正憲
教育委員	別府徹也
教育委員	長瀬秀子

### 4 事務局

教育次長	井上博司
教育総務課長	曾貝和人
学校教育課長	武井由典
人づくり文化課長	西村 斎
秘書課長	高橋保雄
秘書課課長補佐	島田勇人
教育総務課総務係長	筒井沙奈美

### 5 報道関係者・傍聴者

報道関係者 0名      傍聴者 0名

### 6 会議事項

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 教育長あいさつ
- 4 会議事項

○第2次教育大綱の策定について

7 会議録＜開会 午後 1:30 閉会 午後 2:40＞

発言者	発言内容
秘書課長	<p>皆さんお揃いになりましたので、ただいまから令和2年度第3回的美濃市総合教育会議を開催いたします。はじめに武藤市長がごあいさつ申し上げます。</p>
市長	<p>みなさん、こんにちは。今年はコロナに始まり、まだコロナの対応を行っているという状況です。そんな中での開催となりますが、ぜひ貴重なご意見を賜ればと思います。すでに第1次の教育大綱が出来てから5年が経過しようとしています。5年間の間にどれだけ目標が達成されたのか、目標がどのように実践され、結果としてどのような教育環境ができ、子どもの成長にどのような結果をもたらしたのかを考えると、大人が一生懸命考えてやるんですが、世の中の流れについていけない部分があるなど感じています。おそらく、昔は、今のように、スマホやネット環境を使って、あらゆる情報が誰でも手に入るような状況になっていること想像できなかったでしょうし、これから更にはタブレットを導入した教育をしようと考えている訳で、現状をしっかりと認識して、5年後くらいまでは想定して、どういう形がいいかを考えなければなりません。恐らく、大きな目標は50年前から変わっていないはずですが、方法が変わっていくのかなと思います。まずは、達成できたことを評価して、次の目標に向けて何をしていくのかを考えていくのかなと思っています。子どもたちには、将来的美濃市、岐阜県、日本ひいては世界を背負っていただく責務があるわけです。ぜひ、次の大綱には、子ども目線を十分取り入れて、誰が見ても分かりやすいものになるようにしたいと思います。本日はどうぞよろしくをお願いします。</p>
秘書課長	<p>次に樋口教育長、ごあいさつをお願いします。</p>
教育長	<p>みなさま、こんにちは。本日はお集まりいただきありがとうございます。第1次大綱を作ってから5年が経ちました。この5年間、教育の本質は変わっていませんが、手立ての部分で色々な変化がありました。そして、第2次の教育大綱、来年度から5年先を見据えたものの策定の時期となりました。5年後といいますと今の中三、15歳の子が二十歳になっている、実社会に出て、働いている子もいる、小6は、高2になっている、5年後というのはそういうことです。そこを見据えながら大綱の策定をしていきたいと思っています。現大綱の評価、成果と課題を足場にしながら、委員の皆様から色んなご意見をいただき、第2次の大綱に取り入れていきたい</p>

	<p>とっていますので、忌憚のないご意見をいただければ、ありがたいと存じます。どうぞよろしく申し上げます。</p>
秘書課長	<p>ここからは、美濃市総合教育会議設置要綱第4条に基づいて市長が議長となりますので、会議の進行をお願いします。</p>
市長	<p>それでは、要綱に基づき、議長を務めさせていただきます。 最初に、第2次教育大綱の策定について、教育総務課長から説明をお願いします。</p>
教育総務課長	<p>皆さま、こんにちは。お疲れ様でございます。それでは、説明させていただきます。 ・教育委員に事前に配布した資料 現「教育大綱」、資料「第2次教育大綱策定スケジュール等について(案)」及び資料「第1次教育大綱 評価」について説明する。</p>
市長	<p>ありがとうございました。今の状態で、何か意見をくださいといっても難しいと思いますので、今年はコロナの関係で休みが非常に多かったわけですが、子どもたちの感覚は変わったのか、変わってないのか、勉強に取り組む姿勢など、分かれば発表いただきたいです。</p>
学校教育課長	<p>学校が6月から再開し、2週間の夏休みの後2学期が始まったわけですが、6月当初と比べるとコロナ対策の厳しさが緩和されてきています。当初は鍵盤ハーモニカ等もできませんでしたが、現在は徐々にそういった活動もできるようになりました。再開当初は閉塞感がありましたが、学校へ来て楽しいとかいったことも聞かれ、少しずつではありますが、以前に近づいてきたと感じています。学習面については、教室の中で交流しながらといった活動はできませんが、昨年度導入した電子黒板をうまく利用しながら授業を行っています。今、学校が重点的に取り組んでいることは、単なる教科の内容を教えるだけでなく、学び方の指導、特に家庭でも出来るようにすることを行っています。</p>
市長	<p>子どもたちは休みがあって、楽しかったのか、楽しくなかったのかどちらですか。</p>
学校教育課長	<p>データがあるわけではないので、分かりませんが、学校再開後に「みんなと会えてうれしかった。」という声が多く聞かれています。休みの間は、今も課題となっていますが、ゲームとかで気を紛らしていた子どもたちが</p>

<p>市長</p>	<p>多くいたということでそういった子どもたちが課題となっています。</p> <p>私なら、休みがあつてうれしいですけど、実態があまり分かりませんが、徐々に元に戻りつつあるという感じかな。子どもたちは重症化しないということが分かってきたので、国の方の方針も変わってくるのかなと思っています。前回の大綱の中では、目標を大きく4つつくり、私が一番問題にしたのは、抽象的なことを書いても、意味が分からないので、最終的な具体策について、しっかりやらないといけないとお話したと記憶していますが、みなさんのこの5年間の感想をお聞かせいただければありがたいと思います。</p>
<p>市原委員</p>	<p>この大綱を作った時、素晴らしいものだと思っていました。しかし、学校教育や子どもたちを取り巻く環境などコロナがあつて、すごく変わってしまい、これが子どもたちにあつているのかなと思うところもあります。これからの国際社会の世の中を生きていく子どもたちを思うと、学校教育もすごく変わってくるのだらうなと思いますし、IT教育も盛んですが、それだけでは済まされない部分が教育の中にはいっぱいあると思いますので、日々刻々と変わっていく時勢に合わせて、教育の内容も変わっていかなければならないと思います。そして、教育の一番大切なところに居て下さる先生が元気で、やりがいを感じていただくことをもっと盛り込めたらいいなと思います。</p>
<p>別府委員</p>	<p>子どもが、小学校、中学校に通っているということで、まさにこれに該当する世代がいる家庭ということですが、目標や大きな理念は変わらないと思います。ただし、重点(1)の確かな学力の定着と向上のところ、 「ICT機器およびICT教材の導入を進めていく必要がある」とありますが、あくまでハードやテクニックの部分であり、これを使いこなせることを考えていかなければいけないと思います。この5年間でどういう風にやっていくのかを考えていかなければならないのかなという気がしています。</p>
<p>中島委員</p>	<p>大綱を作っていただいたんですが、具体策がないので、普通の人を読んでも分かりづらいところがあると思います。関わりを持っている人からすると分かると思いますが、例えば、この大綱を見て、「はじめに」を読む人がどれだけいるのかなということを考えると、もう少し具体的に誰でも分かるようなことを基本に考えた方がいいのかなと思います。一応、子どもを対象にしている大綱だとは思いますが、市民に伝わったのか、理解してもらおう市民の為に、これをどう使っていくのか、なかなか市民に理解してもらえていないので、意味として分かる、本当に具体的なものを作って</p>

<p>長瀬委員</p>	<p>いった方がいいのかなと思います。コロナ禍というか、こういうものが流行った時にどう対応していくかというのを計画に盛り込むことは難しいことだとは思いますが、今、大学生が学校をやめようかということを考えている状況において、学校、教育の必要性が分かりにくくなってきているのかなと思います。それに打ち勝てるような子どもたちをつくっていくような大綱を作っていたらと感じました。</p> <p>大綱はすごく大事なもので、これを拠り所として方向性が決まり、これを元に予算要求だとか色んな施策が立てられていくのだなと感じました。気になる所は、学校教育の充実というところで、「確かな学力の向上と定着」はどこの市町村もやっていることなんです。多くの課題が基礎的学力の充実で少人数の為の非常勤講師は、美濃市は充実していると感じていますし、その成果がどの学校も落ち着いて学習に向かっている子どもたちの姿になって表れているのではと感じますし、外せない項目だと思います。思考力、判断力、表現力は本当に難しいところですが、これは外せないで、是非どういう手立てを打ったら伸びるかをやっていただきたいと思っています。家庭学習の充実というところで、ドリルは本当に必要なのかと疑問に思っていて、1・2年生は大事だけど、3年生以上の場合、計算機を使えば簡単にできるような計算式を20問、2ページを何度もやるのは苦痛です。これをやることで、算数嫌いをつくるのではないかと思います。本来、算数はクイズを解くような、おもしろいものなので、例えば、3年生以上はドリルをなしにして、別の教材をやるといったような思い切った指導が出来るように先生を支援していかないと、校長が2、3年で変わるので、変えようと思っても変えられない。変えたとしてもその責任が取れないというようなところがあって学校教育は変わらないんですね。そこは、小回りのきく美濃市なので、思考力、判断力、表現力をつけるにはどうしたらいいか、3年生以上に理科、社会が入るんですが、一人の先生がやるのは、授業の準備が十分できず、授業の充実、そこで思考力、判断力、表現力をどうつけるか、一人一実験させて理科教育に特化するかそういうことも出来ない状況で、ずっと待っている、そういったところの思い切った政策のない限りは、このままの課題で、基礎、計算はできるけれどもそこが課題かなと、そこがずるずるいってしまうので、例えば、2学期制にして、苦痛のテストをし、ビデオを見て、やったことにして成績をつける無駄な2週間ぐらいの時間を1回減らすとか、そういうことをして、ある予算の中で、効率良く、本当に保護者は1回1回成績表をもらって、休みに入りたいと思うけれど、そこは思い切って改革していかないといつまでもこのままだと思うので、今後考えていただけたらなと思いました。それと、コロナの中で、一番思ったことは、体力がすごくなくなりました。ゲ</p>
-------------	---

<p>市長</p>	<p>ームで過ごすことを許してしまうし、学校の登校が減ったことで体力が減った。体力は小・中学生には欠かせない、将来社会で戦っていくうえで体力がないと戦えない。しっかり体力をつけるという学校教育の充実も、柱の中にどこか明記して、体力検査という国の調査もあるので、分析的に手立てを受けて、その成果がどうかも分かるので、是非、体力向上を大きく柱として欲しいなと思いました。</p> <p>大変ありがたい意見ありがとうございました。親として何を望むのかということに対して、皆さんどのような感想をお持ちですか。親の思いと我々の思いが同じであることが、こういった大綱を作るとき非常に重要でありまして、親は何を感じているんだろうなど、長瀬委員の意見に大賛成であります。美濃市は体力一辺倒でいきますよ」とした場合、PTAは何を思うのかなというところが課題でありまして、仕事をやるときに職員に言っているんですが、我々の仕事は、憲法が基本になっています。憲法があって、法律があって、条例があって、規則などがあるんですが、一番元のところをきちんとしない限り、最後までできませんよと話をするんですけど、何となくそこまで話が行かずに上面のところでは判断しようとしているんですね。ミスまでは起こりませんが、深く考えれないというところがあります。私がいつも言っているのは、「健康だから色々な事が出来るんであって、色々な事が出来るから健康じゃないんですよ。」と言うんですけど、健康が一番おざなりにされている部分じゃないのかなと、病気になってはじめて健康の良さが分かると同じように、健康で体力があって色々なことにチャレンジできる。親は何を期待しているのかと。私の偏見でいきますと、多分、小学校でいくと「国語、算数、理科、社会で100点取ってくれるといいな。」と、中学とか高校に行くと、英数理なのか英国社なのか理科系にいくのか文科系にいくのかというような話でありまして、いい大学に入って、そのあとどうなるかということ、どこの会社に入るのかというような話になって、それで本当にいいんですかと疑問に思っているんですが、多分そういう親が多いのではなかろうかと。生まれたときは、そんなこと全然思わずに健康で育ててくれればいいなと皆さん思うんですけど、それがどんどん変わって行って、結局は頭がいい、悪いといった話になる気がするんですが、そういったところも変えていかなければいけないと思うんですが、親は、又はPTAはこんな考え方ですよというのがありましたら、ご発言いただけるとありがたいですが。</p>
<p>別府委員</p>	<p>PTAの活動自体が、小学校や中学校、市によって大きく違ってきています。娘が小学校の時に1年間PTA会長をやらせてもらったんですが、この教育会議とは違う話になるんですが、美濃市以外の中濃地域のPTAの役員</p>

	<p>は、今年役員をやったら、翌年は連合のPTAの役員をやるといった市がほとんどで、美濃市だけ1年で変わっていくという実態を知って、PTAの活動に対する考え方が違うんだと感じました。1年で終わると複数年やるのでは、担当者や役員が替わってしまえば話がそこで終わってしましますが、複数年やることで、色々なことが繋がっていくことがあったりするので、じゃあ、来年から美濃市も複数年やるといったことも急な話で、中々難しいと思うんですが、PTA活動のことを考えるが先なのか、PTAの役員の複数年頼むことができるのかを考えないといけないかもしれませんが、美濃市のPTAの活動はある意味、学校の教頭先生におんぶにだっこに近い状態なのかなと思います。</p>
<p>長瀬委員</p>	<p>美濃市の保護者の方々がどんな思いかというのは分かりませんが、娘が一宮市の学校に勤めているのですが、一宮の保護者の意識と美濃市の保護者の意識は全然違うよと、一宮の保護者はとにかく学力をつけることが大事だと思う方が圧倒的に多く、ドリルだけでなく家庭学習をしっかりやってくる子どもが多く、学力に対する意識が高い。美濃市の方は、学習に対する意識がすごく高い保護者と全然そうでない保護者との2極化、将来を考えて学力をちゃんとつけさせてあげたいと思う保護者は少ないというか、美濃市の保護者はそこまで思っていないんじゃないかという感覚が自分の周りとかと話していてもそんな風に思います。美濃市は、のどかで、そこそこいけばいいんだけど、私はやっぱり、美濃市から世界に羽ばたく、ふるさと納税をがばっとしてくれるような人材、ふるさとを愛して世界じゃなくても色々な所で活躍、今はテレワークもありますし自宅からでも活躍できる、そういう人材の育成があってもいいじゃないかなと、私は美濃市が大好きなので欲しいなと思ったところで、保護者の意識を高めながらいくことも大事かなと、それには保護者も実はうすうす気が付いていて、昔は勉強なんかしなくても、体さえあれば食べていけるような時代の時は何でもよかったんですが、保護者自身もリストラとか人手は足りないけれど人材不足というような中で、会社に入っても常に学ばなければいけないという保護者の方々も多いので、意識は変わってきて、高くなっているのかなと、そこを後押ししてがんばる美濃市でいきたいなと思っています。</p>
<p>市長</p>	<p>市原委員に、海外の保護者について、もし分かれば教えていただきたいです。</p>
<p>市原委員</p>	<p>海外で色々なことをさせていただきましたが、成績も重要視されるんですけど、社会でどのような活動をしているかとかがすごく重要視され、子どもたちが人前で自分の考えを書いたものを言えるとか、スピーチとかラ</p>

	<p>イティングということも重要視されているような気がしました。そして、ものを考えるということも重要視されていて、スイスの学校の本を読んでいて、体育の授業のことを日本と比較して書いてあったんですけど、50メートル走の時、日本はタイムを計って、速いとか遅いとかになるんですけど、スイスは走る前に脈拍を計り、走った後はタイムを計り、秒速何メートルか、1キロ走るにはどれだけかかるかという算数の授業になり、脈拍については、走る前と後でどうして違うのかといった生物の授業になったりして、色んなことを関連付けて教育しているということが書いてあって、考えることを科目ごとでやっても中々応用が出来ないけど、こういう風にすべてに関連付けて分かるんじゃないかというところが日本との違いで、保護者も学校教育に対して、先生の言うことは正しいとか、学校の方針に従うのではなく、私は違うと思う、うちの子にはこういう教育をさせたいと言える審議会がありました。私が行っていた大学でも、そういうような感じで、保護者の子どもに対する教育方針については意見していました。子どもの教育方針について、保護者がこれは違うとかはっきり意見が言えるシステムがあって日本とは違うなと思い、最終的には子どもを成長させたいと思う先生も保護者も着地点は同じですから、意見を交わすことは大事で、お互いが理解できるまで話し合うということをしていました。日本の学校の先生は、保護者の意見があるとビビってしまうようなところがあると思いますが、お互いがお互いを尊重できるような関係になって、保護者の意見を対等な関係で聞いて、最終的にはこういう風に育てたい、今は、お金が儲けられる人にするのが一番いい教育だそうです。いい大学に入るとかそういうことだけじゃなく、社会人としてどうやってやっていくかを目的にしたときに、みんなの考え方、そして地域の方との関連が希薄になっていますから、地域の方とみんなですべて育てるんだという意識をもう一度教育の中に入れていっていただけたらいいなと、ちょっと的はずれしているかもしれませんがそう思います。</p>
市長	親との関係、大人と子どもとの関係については
中島委員	<p>先ほど、別府委員からPTAの話がありましたが、私が役員をやっている時からそうでしたが、なんでPTAってあるのというところからはじまって、都会の方では、PTAって必要じゃないんじゃないのという考え方が当たり前になっていて、PTAを抜いたり、入らない親が沢山いるというのが現状です。PTAを必要とする意味が分かっていないということが、今の親に対しての一番の不安であり、どうしたらいいものかと思っています。先ほど、長瀬委員からドリルが必要じゃないんじゃないのという意見がありましたが、子どもの立場からするとドリルがあるから勉強できることもあ</p>

るし、それを繰り返すことが必要な子もいるし、親としても、これをしていけば安心できるということもあるだろうし、それぞれの親の価値観も違ってきているので、必要とするものを必要に応じて学校が与えられるかどうかというところまでは学校としては日本では無理だろうなと思います。多面化してきているこの世の中にどう対応していくか、教育のあり方を考えていくのにはどうしたらいいかということを考えていかなければならないし、それから、学力さえ上げればいいと考えている親は減ってきていると思います。ですから、それをもう少し学力が必要じゃなければ、どう子どもを育てていったらいいのってことは、子どもが何をやりたいかということ親がしっかり見極めてあげる、それを伸ばしてあげる、うちに孫がいますか、何をさせたらいいかわからない、あれもこれもということ広げてあげたいから、ピアノも習わせる、水泳も習わせる、それが嫌だと言えど変えてやるといったことで色々な体験をさせて、その中で、自分に一番合うものを選んでくれればいいなということで、今色んなものを体験させているということを書いてきましたが、子どもに対してそれを見極められるだけの親がどれだけいるかっていうと、それが中々いないので、そういうことを教えてあげる場が必要だなと思っています。それから、日本人は日本人らしさがないといけないと思うんです。別に、外国でこうしているから、こうしなければいけないって訳ではなくて、日本人であるべき姿を伝えてあげて、日本人は、こういういいところがあるんだよということを伝えてくような教育をお願いしたいです。大綱の基本理念である「ふるさと美濃」に誇りと愛着をもち、ふるさとの未来を担う人づくり」にありますように、美濃市は美濃市だけの子ども達、美濃市が育てた子どもは、こういう子どもなんだよということをみんなに知らせてやる、そして、地域の人にもこういう人間が美濃市としては理想なんだよということを伝えていくことが必要なんじゃないかと思ったり、一番悩んでいるのは、こういうことをやろうとしても、それに興味を持って参加してくれる人が少ないということが問題。総合計画で考える会というのがあって、その中で、ああしたらいいとか、こうしたらいいというのはいっぱい出てくるんですが、それをどうしたら、みんなが興味を持ってくれるか、参加してくれるかが一番大切なことで、思っているんだけどそれが実行できないという保護者や地域の人が多いので、それをいかに興味を持たせながら協力してもらおうかということを考えていかなければいけないんじゃないかと思っています。

市長

ありがとうございました。聞いていると全部いい意見なので、全部やろうとすると、学校の先生、大変ですかね。いかかでしょう。

<p>学校教育課長</p>	<p>参考となる意見ばかりです。今、学校教育の方でも同じように問題として取り組んでいかなければならないと考えていることもご意見の中であつたなと思います。例えば、家庭教育の話もそうですし、保護者や地域の意見もそうですし、一方では日本らしさということもございました。学校教育としてやらなければならないことは、コミュニティスクール、学校運営協議会というがありますので、近いうちに実現したいと思っておりますが、校長がいて、運営協議会の委員さんがいて、その中で意見を言い合つて、校長の経営を基にしながら、どうみんなで力を合わせて、それぞれが主体的に実現していくかという組織となりますので、そういうことを実現していく中で、今出していただいたご意見を実現していけるようにしていかなければいけないんだなということを考えています。</p>
<p>市長</p>	<p>一番聞きたかったのは、必要な人に必要な物を与えることが学校ではできますかということ。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>ある程度の基盤を整備する中で、網羅できる、間口を広げるという対応と、それから個別に対応していくという両面でやっていくことが必要になってくるということがあります。専門的には基礎的環境整備とか合理的配慮とかいったことがあります。もう一方では、多様な価値観を認めながら大事にしながら進めていくような、そういった価値観というか集団のあり方とかそういったものによって解消できることがあるかもしれないので、そういったハードの面とソフトの面と両方で対応していかなければいけないかなと思っております。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございます。今の意見を全部正しいと思つて、私も何かできないかなと考えていたんですが、全部の人にすべてのものを与えるのは、現状では無理だと思います。そして、保護者の方が何を考えているか、色々あつて、一番評論家になれるのは教育なんですよね。いろんな評論家がありますけど、教育評論家は日本国民全員がなれると思つてしまつて、色々な考え方がありすぎて、どれにしたらいいかというそういう形になるのかなと思つています。PTA 活動を通じて、集約をしていただけないのですが、先ほどありましたように、PTA 活動をやりたくない人ばかりということですが、やはり学校にすべてを任してしまうのは不可能なはなしなので、一定の PTA の参加がないとやれないということも事実なので、PTA が学校や子どもたちに対する思いを持ってもらう仕掛けが必要かなと思つています。</p> <p>第 1 次の教育大綱を定めて、間違つたことは書いてありませんが、具体的にどうなったか、点数制にするとなかなか表しにくいところがあると思</p>

っています。

基本目標の1番が学びづくり、2番が心づくり、3番が生きがいくづくり、4番が地域づくりで、順番でいくと学びが重要かなと、とらえてしまいますが、別に並列なので、どれが一番ではありませんが、書く時には一番最初が重要だということになってしまいますが、社会教育、家庭教育が大事なのか学校教育が大事なのか、あるいは地域社会づくりが大事なのか、そういった時に、何が一番重点的になるのかなと、この順番でいいのかなと、あるいは、学びづくりといっても分かりにくいので、表題を変えたらどうですかとか、あるいは、生きがいくづくりといっても学びづくりと何が違うんですかとなると中々、言葉だけ聞いても、理解しにくいので、ここを少し、最初に言われたように、「あ、こういうことなんだよね」、この中でぱっと見ると、学びっていうのは分かりますけど、あとのところはですね、中々読む人にとっては分かりにくいかなという中で、実際の具体的なことは変わらないと思いますが、目標の「心づくり」って何ですか、ぱっと答えられるというか、見た人が「あ、こういうことだよ」と理解できるような、そんなような内容に少し変えた方がいいのかなと私としては思わないでもないんですが、最初でしたので、まずは美濃市としてこういう風にしていきたいというのが、反省材料の中で、きれいに理解していただく、あるいは子どもがこれを見て理解できる、そんな言葉がないかなと、少し長くなってもいいかなと思いますが、そのへんで、言葉の中で特に、一番大事なのは、この中でもこれだよってというのがあれば、そういったものを目標の一番にあげていくとかですね、じゃあ、学びって言っても何のことか分かりません。学校教育っていうのか、学びって言っても、ずっと学びなので、中々分かりにくいかなと思っているんですけど、基礎的学習づくりといった方がいいのか、ちょっと分かりやすい表現の方がいいのかなと思いますし、こういったものをつくる時に、具体性がないものですから比較的これをもって説明しても、それで何なのと言われる可能性がありますので、これに重点施策一覧を添付して説明するとか、2次の大綱の方ではそこまで含めてやっていった方がいいかなとそんな思いであります。

第2次の大綱を作って、美濃市の子どもをこうしたいというところですね。子ども目線、大人目線、色んな目線があると思いますが、最後にこれから原案を作って参りますので、今いただいた意見も当然中に入れさせていただきますが、どうしてもこれだけは言っておきたいということがあれば一言お願いします。

中島委員

一番分かりやすいということが必要だと思っていまして、基本理念「ふるさと美濃」に誇りと愛着をもち、ふるさとの未来を担う人づくり」というのが、「誇り」って「愛着」って何やろうなって思う人がいると思う。

	<p>ちなみに「誇り」ってなんて説明するのかと、辞書を引いてみると「名誉に思う」とか「自慢する」とか、「愛着」は「可愛さに心ひかれて離れられない」といったような意味合いを持っている様です。同じ意味なんですすが、みんなが聞いて、「おっ」っていう風に思ってもらえるのに、「ふるさと美濃」を名誉に思い、自慢できるとともにと心惹かれて離れられない、ふるさとへの気持ちを育て、美濃市の未来を責任もって行動してくれる人をつくる」っていうような、もっと分かりやすい言葉を使って、先生ともなると、自分では分かっているけれど、それを相手に伝えようとした時に、相手が何を言っているか分からない、先生だからこんな言葉を使うけど、私はちょっと分からんわといった部分がありそうな気がするので、もっと基本理念についても、そういう思いを皆さんに伝えられるような、言葉を文章にもっていったらと思いますが、逆に分かりにくくなるかもしれませんが、そこは、武井先生の腕で分かりやすいような文章にさせていただいて、誰もが分かるような、そういう言葉づくりに変えてもらえるいいのかなと思います。家庭、学校、地域の順番というのがありましたけど、やはり3つ一緒じゃないかと思います。どうかすると、学校は先生に任しておけばいいやという人任せみたいなどころがあるので、この3つを一緒にした何かいいことを考えていけたらと思います。</p>
<p>長瀬委員</p>	<p>分かりやすいというか、何を指すのかというのが分かるネーミングがいいなと思いました。基本目標で「学びづくり」、「心づくり」、「生きがいづくり」、「地域づくり」と、何となくイメージはできるんですが、タイトルを見ただけで、読まなくても、思い描けるようなタイトル、イメージできるようなタイトルがあるといいなと思いました。私も次回までに考えてみますが、きっと素晴らしい案が出ると思いますので、期待しています。</p>
<p>市原委員</p>	<p>分かりやすいというかキャッチコピーというのが流行ってしまっていて、今あるような言葉じゃなくて、老若男女誰でもみんなに、頭にすっと入るような言葉があったいいなと思いました。次回までに私も考えてきます。</p>
<p>別府委員</p>	<p>子ども達に、どういったことを体験させるかを考えた時、市外から美濃に移住してきた方が増えてきたと思いますが、そういった方々と子どもたちが接する点が意外とないのかなと、なぜ美濃市に来られたかとか、そういった方々と交流することによって、先ほどの中島委員の意見にあったような、美濃市に誇りと愛着にもつながると思いますので、学校の授業に取り入れていただければと思います。スポーツのことで言えば、子どもの数が減ってしまったことで、スポーツをする場が減って、多人数でのスポーツなんかは、団体の存続そのものが厳しくなっていると思います。ましてや</p>

	<p>美濃市は、美濃中と昭和中で、部活がある、ないが出てくるので、小学校までやっていたスポーツが中学校ではないとなった時に、私立の中学校に行き続けられる方もみえるかもしれませんが、何かスポーツを通して、美濃市だけでは難しければ、中濃地域で考えてもいいのかなと思います。せっかくやっていたスポーツが、中学や高校にあがって出来ないというのは、子どもたちにとってもかわいそうですし、やってもその先がないのならやめようかというのもさみしいので、美濃市だけの話ではなくなりますので、県も含めて、取組というか、一つ入れていただいてもいいのかなと思います。</p>
市長	<p>ありがとうございました。私の思いとして、小学校4年生くらいに読んでもらって、「僕たち私たちは、こういう風にして大人は考えているんだ。」ということが分かるようなものは出来るんですか。教育大綱は私たちが作っていますが、子どもたちが読んで何のことか分からない、中学生なら分かるかもしれませんが、多分小学生が読んでも何のことですかという話かなと、どうですかね。教育大綱は、「あなたたちをこういう人間に育てたい為にあるんですよ。」「大人が子どもたちの為にこんな風に考えてくれているんだよ。」というようなイメージ的に作れるのか作れないのか。きちんとしたものはきちんとしたもので必要ですが、かみ砕いたもので、子どもたちが理解できるもの、小学校4年くらいの子が美濃市の教育大綱を読んで、「こうならなければいけないんだ。」とか「こうして欲しいと思っているんだ。」というのができれば、理解されやすいというか、どうでしょう。最後に教育長にまとめていただいて、今日の会議は終わりにしたいと思います。</p>
教育長	<p>貴重なご意見ありがとうございました。皆様の意見で、考えが及んでいなかった部分や違う角度からの意見など参考になりました。皆様の共通した意見として、分かりやすいということが一番大きな柱になっていたかなと思いました。最後に市長が子ども向けにとおっしゃいました。例えば、教育大綱は、あくまで大人向けだと思っていますので、方法として、子ども向けのダイジェスト版を作るということも視野に入れていく必要があるのかなと思います。大綱というのは策定することが目的ではなく、策定した大綱をどう生かしていくかが重要な意味があるので、分かりやすく簡潔に、そして、見ただけでこういう方向でいくんだなということが分かる大綱をつくっていきたいと思います。11月の会議では、大綱の体系的なことをお示しできるよう、素地をつくっていきたいと思っています。その素地になるような貴重なご意見を多くいただきありがとうございました。</p>

市長 秘書課長	それでは、事務局にお返しします。 それでは、以上で第3回の総合教育会議を閉会といたします。 長時間のご協議をどうもありがとうございました。
------------	---

## 令和2年度 第4回 美濃市総合教育会議 会議録

### 1 開催日時

令和2年11月26日（木）午後2時30分～午後3時30分

### 2 開催場所

美濃市役所4階合同委員会室

### 3 出席者（構成員）

市長（議長）	武藤鉄弘
教育長	樋口宜直
教育委員	市原慶子
教育委員	中島正憲
教育委員	別府徹也
教育委員	長瀬秀子

### 4 事務局

教育次長	井上博司
教育総務課長	曾貝和人
学校教育課長	武井由典
人づくり文化課長	西村 斎
秘書課長	高橋保雄
秘書課課長補佐	島田勇人
教育総務課総務係長	筒井沙奈美

### 5 報道関係者・傍聴者

報道関係者 0名      傍聴者 0名

### 6 会議事項

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 教育長あいさつ
- 4 会議事項  
○第2次教育大綱の策定について

7 会議録<開会 午後 2:30 閉会 午後 3:30>

発言者	発言内容
秘書課長	<p>皆さんこんにちは。定刻となりましたので、ただいまから令和2年度第4回的美濃市総合教育会議を開催いたします。はじめに武藤市長がごあいさつ申し上げます。</p>
市長	<p>みなさん、こんにちは。今年も残り1ヶ月となりました。今週は、市役所の中で新型コロナウイルス感染症の陽性者を出すなど市民の皆さまに大変ご迷惑をお掛けし申し訳ございませんでした。2人の感染者を出しましたが、関係者は全員陰性で、8名の濃厚接触者については、2週間自宅待機となりますが、関係箇所をすべて消毒し、窓口については今日から通常業務としています。</p> <p>県のコロナ対策会議の資料により県の対策について説明。</p> <p>美濃市の会食応援事業については、5人以上を対象としている為、今日から新しい予約を停止しています。</p> <p>本日の教育総合会議は、新しい教育大綱の策定作業の中間報告ということで、説明させていただきながら、ご意見を伺い、素晴らしい大綱であるとともに実効性のあるものとなりますように、ご協力いただきますようお願いいたします。</p>
秘書課長	<p>続きまして、樋口教育長、ごあいさつをお願いします。</p>
教育長	<p>みなさま、こんにちは。本日は、前回、現行の教育大綱について、皆様方から貴重なご意見をいただきまして、第2次教育大綱につきまして、出来るだけ鋭角的に切り込んでいくということを考え、このような案を作らせていただきました。後程、教育総務課長の方から説明させていただきますので、ご意見をいただけたらと思いますので、どうぞよろしく申し上げます。</p>
秘書課長	<p>ここからは、美濃市総合教育会議設置要綱第4条に基づいて市長が議長となりますので、会議の進行をお願いします。</p>
市長	<p>それでは、要綱に基づき、議長を務めさせていただきます。</p> <p>前回の総合教育会議におきまして、皆様方から色々なご意見を頂き、それに基づきまして次期の骨子として、提案させていただきたいと思いますのでよろしく申し上げます。それでは、骨子について、説明をお願いします。</p>

教育総務課長	<p>皆さま、こんにちは。お疲れ様でございます。それでは、骨子案についてご説明させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員に事前に配布した資料 「現行の教育大綱」、資料「第二次教育大綱・振興計画 体系概要（基本理念・基本方針）」、資料「第二次教育大綱（R3～R7）・振興計画 体系概要」及び資料「基本方針」について説明する。</li> </ul>
市長	<p>ただいま、骨子についての説明をいたしました。これについて、何かご意見、ご要望がありましたら発言をお願いします。</p>
中島委員	<p>基本に戻ってしまうので、面倒くさいなあと思われるかもしれませんが、誰に対してやっているんだろうなど、自分達だけで作ったと喜んでいるだけなのかなと、市民会議の方でも大綱を配ったりしてみても、あまり興味を示してもらえない。市民に理解を得たいのであれば、知ってもらうための手法なども考えた大綱にしていけないかと思いましたが。</p> <p>歴史と文化という点について、今の子どもたちが、美濃市の伝統や文化について、どれくらい理解しているのかということが伝わってこない。学校の方で一生懸命やっていたらいいんですけど、まつりについては、自治会単位でやっているわけですが、私は旧美濃町出身の人間ですので、美濃まつりはいいよと思っているんですけど、例えば、上牧や下牧地区など他の地区の子どもたちにとっては、旧美濃町の人たちがやっているものだという印象が大きいので、美濃市全体として考えた歴史、文化の理解を広めていく、子どもたちにも地域の人たちにも理解いただけるような方策があるといいのかなと思っています。</p>
市長	<p>武井学校教育課長、今のご意見に対して何かありますか。</p>
学校教育課長	<p>歴史と文化については、それぞれの地域のまつりでいくと、そういった特色があり、学校教育課で作成している社会科の副読本を美濃市独自の教材として、教科書とは別で、美濃まつりやひんここ、虫送りとかそれぞれの地域の代表的なまつりを取り上げながら、まず自分たちの地域のことを勉強し、それから市全体、県全体へと広げていく社会科の学習として行ってみたり、総合的な学習の中で地域のことを勉強し、他へ発信していこうという活動も行っています。</p>
市長	<p>今の質問はそうではなくて、美濃まつりは、美濃市のまつりだと。なぜそうならないのかと。そういう方向には行けないのかと。大矢田のひんこ</p>

<p>学校教育課長</p>	<p>こまつりは、なぜ、美濃市のひんこまつりとならないのかと。そういう質問だと思えますが。</p> <p>捉え方にもよるとは思いますが、今のまつりの実情として、それぞれの地域のまつりとなっているので、現状を踏まえた上で子どもたちに指導しています。</p>
<p>市長</p>	<p>誇りを持たせるとなっているが、美濃町の子だけが美濃まつりに誇りを持ってほしいのか、美濃市の子全部が美濃まつりに誇りを持ってほしいのかと、そうなると伝統文化は、それぞれの地域が守らなければいけないと変えないといけないのか。そのあたりどうなのか。例えば、郡上踊りは、郡上市の踊りなのか、八幡の踊りなのか、白鳥踊りは、白鳥の踊りなのか、郡上市の踊りなのか。行政側から考えると、美濃まつりは伝統文化であると同時に観光産業にも当てはまる。そうすると、美濃市のまつりだよと言ってもらえると嬉しい。牧谷の子が、関係ないから知らないよでは寂しい。美濃市には、こんな素晴らしいまつりがあるんだよと、洲原の子も牧谷の子も中有知の子も言ってもらえると嬉しいと思います。中島委員のおっしゃられるのはそういうことなのかなと思います。</p>
<p>中島委員</p>	<p>美濃市と全体的に考えられるような伝え方をしていかないと、局部的な活動で終わってしまう。小さな地域で育てていけばいいのか、美濃市全体で育てていけばいいのかで、やり方が大きく変わってくると思います。旧美濃町だけでやればいいのか、観光として市全体でやるのか、この大綱でどう捉えていくのかも考えていかなければいけないのかなと思います。</p>
<p>市長</p>	<p>多分、今までにない視点なのかなと思います。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>非常に難しいことで、やはり、まつりについては、自分たちの住んでいる所の方が思い入れが強いですし、そこが分かっていないと他のところも理解できないですし、美濃市の中には色々なまつりがあって、全部大事にしたいよというところが行き着くところなのかなと思います。</p>
<p>中島委員</p>	<p>それを子どもに限定して考えるのであれば、小中の9年間でどう捉えていくかという発想をしたらどうかなと思います。親や地域にも、こういう活動をしているんだとアピールしていく、そうすると例えば市民会議で、これはできるかなというような考え方ができるのかなと思います。今は単一的に団体を考えると、その団体の活動で終わってしまう。よそがやっていることについて、口出しはしない。お手伝いもしませんよといった感じ</p>

<p>教育長</p>	<p>で、横のつながりが全くない。同じ教育に関わることでも、団体が違うと関わろうとしないところがある。</p> <p>学校で、それぞれ取り組んでいるふるさと学習的なものを美濃学ということばを使っている訳ですが、学校独自でやっている美濃学を体系化しようと考えています。小3以上中3までをイメージし、この学年では何ができるかといったことを体系化して指導計画的なものを作成して、中島委員が言われたようなことに少し答えられるのではないかと考えています。具体的にいきますと、3，4年生は地域を学びます。自分の住んでいる地域の正しい理解がないところで、他の地域は分かりません。まず、自分の足場をしっかりと理解させて、自分の住んでいる所の素晴らしさを実感してもらおう。それには、まつりもあるし、その他伝統的なこともあるし、そういうことを段々広げていく。そのように体系化し指導の流れを位置付けていくことを想定しています。</p>
<p>市長</p>	<p>あと、何かいいですか。</p>
<p>長瀬委員</p>	<p>前回の大纲からすごく分かりやすくなったのかなと感じています。ただ、少し気になるのは、難しいことば、イメージがしにくいことばがあるのかなと思います。例えば、学びづくりだと、「未来を切り拓くための基礎」とか、心づくりだと、「基盤となる豊かな人間性を育む教育」とか、地域づくりだと、「地域の連帯感を醸成し、協働して」とか、市民一般に広く知ってもらうには、少し難しいのかなと思います。地域ということについて、美濃市を愛して欲しいと思いますし、「地域の歴史や文化や自然等のすばらしさに気づき、地域を大切にしよう」と「地域」で使わなければならないことばのところと、「地域」を「美濃市」と書いた方がすっきりするところがあるので、この大纲の中で「地域」と書いてあるところを「美濃市」とはっきり書いた方が分かりやすいというか、目標に向かっていきやすいのかなと、その点見直していただきたいと思います。</p>
<p>市原委員</p>	<p>教育大綱というのは、私たち教育委員とか関係者だけが理解するのではなく、地域の方に本当に理解していただいて、美濃市一丸となって、子どもたちの未来を担う教育に取り組んでいただけるようなものが教育大綱としてはいいのではないかと思います。もっと市民の方に浸透するような教育大綱であって欲しいと思います。まつりとかを学校教育だけでなく、家庭での教育の取組も必要で、その為には、もっと理解しやすく身近に感じるアクションプランみたいなものがもっと盛り込まれたらいいのかなと思いました。</p>

別府委員	<p>基本理念を改めて見ましたが、最後に「態度を育てる」とか「態度」というのがいくつもあります、意図は分かるんですが、なんとなくボヤっとして、もう少し具体的にした方が子どもたちに伝わるのかなと思います。</p>
市長	<p>全体をお聞きしていると、ボヤっとしていると、もう少し分かりやすいことばでイメージができるといいといったことかなと思います。まず、美濃市をテーマにするのか、旧7ヵ町村をテーマにするのかといったところもありますが、そのへんを整理する必要があると思います。具体性が少し弱いのかなと思いますが、具体性ということで取組項目を加えたのが、前回と違うところであり、さらに、これを誰がやるのといったことから、取り組み主体を加えてあります。この大綱は、誰に向けてつくっているのか、という点がなかったのかなと思いますが、一般的には、子どもの為だという安易なイメージの中できましたけど、子どもの為ではありますが、大人が取り組むんですよと、その大人は誰なのかというと、学校の先生だけとなってしまう。あと、先ほどの意見の「態度」というところの書き方を工夫した方が、より分かりやすくなるのかなと思います。</p> <p>あと、何か特に、こういうところが欠けているので取り組まなければいけないようなことはありますか。</p> <p>「学びづくり」、「心づくり」、「生きがいくづくり」、「地域づくり」だけでいいのか、これ以外にあるのかなのか、また、重点の部分で、何かありますでしょうか。</p>
中島委員	<p>教育大綱をなぜつくるのかを考えた時に、責任体制の明確化、危機管理体制の構築、これが実際に美濃市に必要なのかと考えた時に、それ程欠如しているとも思えません。他に重点について、何かありませんかと言われたら、ほぼ網羅されていると思います。先ほどから、皆さんから何回もありますように、行政と学校と教師がやるんだというように市民が思ってしまうと協力的にはならないと思いますので、これは誰がやるんだというところを具体化していくことが、この大綱の一番大切なところだと思います。</p> <p>誇りとは何なのかと、実際、自分自身がそう思っているかと言われると、思っていないあと反省しているところで、それを子どもたちに伝えるのは難しいことだなあと感じています。</p>
市長	<p>教育大綱はなぜ作らないといけないのか。</p>
教育長	<p>まず、法的に定められています。あと、市の教育の方向性を示すことが</p>

<p>市長</p>	<p>実質的なねらいとなります。大綱だけでは、方向性の具体までは書ききれないので、それを補うために振興計画を策定して、大綱と振興計画をセットで行っていくこととなっています。</p> <p>発端は、首長が教育をどうしたいかということから始まっているんです。文科省の方針は、こうなっているが市の独自性を出す為の大綱なんです。どこのを見ても文言は多少違っていても大体似たようなものが多い。極端なことをするという事は、中々できないので、結果的には、大綱そのものはボヤっとしたもので、それよりも振興計画、実際の授業の中で美濃市独自のものを取り上げていく方がより良いのかなという考え方です。美濃和紙や花みこし、ひんここまつりなど全国でこしかないということ。そう言ったものが誇りとなっていくのかなと思います。岐阜県全体でいくと、長良川が大きな誇りです。昔は多分、知らず知らずのうちに生活の中に取り込まれていたんですが、今は一般の生活の中で取り込まれなくなってきたから、こういうことをやらざるを得なくなってきたのかなと私は思いますが、いかかでしょうか。</p>
<p>別府委員</p>	<p>自分の体験としては、大学進学で東京に行きましたが、川で泳ぐことを話したら、川で泳げるのかとすごくびっくりされた。東京に出て、地元の素晴らしさに気付くことが出来たんですが、そういった気付きの場として教育があったらいいのかなと思います。</p>
<p>長瀬委員</p>	<p>孫の小学校では、3年生の時に地域の方と一緒に大根を作って売ると、すぐに完売するんです。学校教育で地域の方にお世話になりながら、学びの場を作っていただけるのは、すごくありがたいことで、誇りと愛着という大きいものに感じられますが、こうした地道な活動で愛着につながり、ふるさとを愛するという事になっていくのかなと思っています。</p>
<p>市原委員</p>	<p>私も美濃を離れて大学に行った時に、和紙の事も色々話したんですが、誰も美濃市のことを知らなかったんですけど、野口五郎さんの出身地でしょと言われたことを思い出します。しかし、皆さんに自分のことを紹介する際には、私の郷土には1300年の歴史をもつ美濃和紙がありますっていう言葉が一番で、そのおかげで、今の仕事をさせていただいていますので、子どもたちにもそういうところを誇りに思っ欲しいなと思います。私が店を始めた頃、美濃小の子どもたちが地域のお宝発見みたいな感じで私が作ったドレスを見に来てくれました。そして、その時の子どもたちが大学生になり、美濃を離れた後も、友達を連れて来てくれて、自分が子ども頃はといった話をしてくれるのは、すごくうれしいですし、小学校から話を</p>

<p>市長</p>	<p>聞きたいといったような依頼があり、地域を知ってくれるのいいことだなと感じています。</p> <p>ありがとうございます。おおむねイメージは出来ますね。ただ、どう書いたらいいかは難しいですけど。各地域というより、美濃市をどう教えるのかなというところと、大綱は、市民一人ひとりが見てすっと分かるようなものがいいという意見だったと思います。</p> <p>ただ、感じたのが、ICT 関係がどこにも書かれていない。これからの時代、ある程度 AI とか ICT とかネット環境とか情報ツールとかそういったことを入れないとまずいのかなと思います。また、AI を活用する能力を増やしてもらわないといけないので、「学び」なのか「生きがい」なのか分かりませんが、重点として取り上げるべきだと思います。</p> <p>皆さんの意見を総括すると、誰の為に向けたものなのか、イメージがしにくいということ、地域では分かりにくいので美濃市に置き換えた方が分かりやすいのか、地域一丸となって取り組むようなことが見えるような体系の作り方、責任体制、とかそういったことだったと思いますが、そのことを中心にしながら分かりやすいことばとか具体的なものと振興計画の概要を示し、皆さんの意見を伺いながら 3 月末までに作りたいと思っています。</p>
<p>秘書課長</p>	<p>それでは、以上で第 4 回の総合教育会議を閉会といたします。</p> <p>長時間のご協議をどうもありがとうございました。</p>

## 令和2年度 第5回 美濃市総合教育会議 会議録

### 1 開催日時

令和3年1月25日（月）午後1時30分～午後2時35分

### 2 開催場所

美濃市防災中央コミュニティセンター2階中会議室

### 3 出席者（構成員）

市長（議長）	武藤鉄弘
教育長	樋口宜直
教育委員	市原慶子
教育委員	中島正憲
教育委員	別府徹也
教育委員	長瀬秀子

### 4 事務局

教育次長	井上博司
教育総務課長	曾貝和人
学校教育課長	武井由典
人づくり文化課長	西村 斎
秘書課長	高橋保雄
秘書課課長補佐	島田勇人
教育総務課総務係長	筒井沙奈美

### 5 報道関係者・傍聴者

報道関係者 0名      傍聴者 0名

### 6 会議事項

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 教育長あいさつ
- 4 会議事項

○第2次教育大綱の策定について

7 会議録<開会 午後 1:30 閉会 午後 2:35>

発言者	発言内容
秘書課長	定刻となりましたので、ただいまから令和 2 年度第 5 回的美濃市総合教育会議を開催いたします。はじめに武藤市長がごあいさつ申し上げます。
市長	<p>みなさん、こんにちは。県知事選挙が終わり、新たな県政がはじまることとなります。美濃市においても、今はコロナ対策に目が行きがちですが、それ以外にも色々な行政課題があり、その中でも、これからの美濃市を担う、ひいては日本を担う子どもの教育が最も大事な課題であると認識しています。</p> <p>長い目で見ながら、目標値を定めて対応していくことが重要だと思っています。そして、子どもが正しく成長し、誰も落ちこぼれない社会を作ることが我々の仕事であるという想いで、第 2 次教育大綱の策定をしていきたいと思っています。ぜひ、忌憚のないご意見をお願いします。</p>
秘書課長	ここからは、美濃市総合教育会議設置要綱第 4 条に基づいて市長が議長となりますので、会議の進行をお願いします。
市長	<p>それでは、要綱に基づき、議長を務めさせていただきます。</p> <p>第 2 次教育大綱の策定について、事務局から説明をお願いします。</p>
教育総務課長	皆さま、こんにちは。お疲れ様でございます。それでは、ご説明させていただきます。事前に配布させていただいた資料 A3 カラー刷り資料(前回までに委員の方からの意見を基にメインで取組んでいくものについて、4 つの基本方針ごとにまとめてあるもの)、資料「第二次教育大綱(案)」について、基本方針 1, 2 を学校教育課長より、基本方針 3, 4 を人づくり文化課長より説明いただきます。
学校教育課長	<p>資料により説明。(基本方針 1、2 について)</p> <p>基本方針 1 重点 1 の判断の指標について、学力状況調査等において、県平均以上にすることを考えている。</p> <p>基本方針 1 重点 2 の判断の指標について、個別支援を必要とする子どもたちの満足度にすることを考えている。</p> <p>基本方針 2 重点 1 の判断の指標について、学力状況調査等において、質問調査の項目があり、前向きな回答の割合 90%以上にすることを考えている。</p> <p>基本方針 2 重点 2 の判断の指標について、いじめ対応をした件数の割合</p>

<p>人づくり文化課長</p>	<p>を100%とするなどを考えている。</p> <p>資料により説明。(基本方針3、4について)</p> <p>基本方針3重点1の判断の指標について、アンケートにより生涯学習の充実度を80%以上とすることを考えている。</p> <p>基本方針3重点2の判断の指標について、ふるさと教育の場を倍増することを考えている。</p> <p>基本方針4重点1の判断の指標について、「考える会」や「市民のつどい」などの参加者数の10%増を目指すことを考えている。</p> <p>基本方針4重点2の判断の指標について、7校区の学校運営協議会設立を目指すとともに協働団体の4~5以上の参加を考えている。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございました。基本方針の達成について、何をもって判断するのか。何か指標がないと分からないので、今、少し例を出してもらいましたが、色々な施策を行った結果、何がどうなったら基本方針が達成できたとなるのかといった指標について、何かございましたら是非ご意見を頂けたらと思います。</p> <p>基本方針でも結構ですし、それぞれの重点に関してでも結構です。</p>
<p>中島委員</p>	<p>学校関係の基本方針1、2について、指標を出すのは難しいですが、今言われた、県の平均以上を目指すとか満足度を上げるとかいう部分を、もう少し具体化していただいて、見やすくしていただけるといいのかなと思います。</p> <p>私が関係している基本方針3、4について、これは、大きな方針で、これを振興計画で細かく作っていく上で、その達成度を確認できるようなものを明確にしていくのかなと思います。その中で、私が考えているのは、参加人数ではなく、いかに興味を持って参加していただける人を増やしていくかが重要で、ただ単に人数を増やすのであれば、強制参加にすればいいだけで、今回は意識を高めていくことを重点的に考えると、興味を持って自ら参加していただくことを目指していきたいと考えています。</p> <p>問題として、それぞれの団体の活動で手一杯で、他の団体の活動については知らないという状況が続いており、共通の目的意識をもって、横のつながりを強くしていくという部分を基本方針の中で進めていけたらと思っています。</p> <p>それぞれの活動について、何ですのか、何をやってほしいのかということをもとめることによって、実績を出していけると思うので、振興計画の中で具体性を持ったものにしていかないといけないのかなと思います。それからスポーツとか、健康年齢5歳アップについて、単純に5歳アップで</p>

<p>長瀬委員</p>	<p>はなく、年代別に判断できるような指標をつくるのが大事だと思います。</p> <p>教育面については、学力状況調査等がありますので、それを活用し分析すれば、その成果が分かると思いますし、学力だけでなく意識調査のアンケート調査も併せて行われますので、分析していただければと思います。</p> <p>不登校やイジメの成果についても、不登校の子どもたちを減らしていきたいですし、イジメは早く見つけていただき、解決時間とかそういったもので示していただくことと、基本方針3の指標は難しいと思います。私の最近の知人で、ベルギーに住んでいたり、国内も色々な所で住んでいた方が最近、美濃市に移住することとなり、美濃市は本当にいいところだとおっしゃっていましたが、それはきっと生涯学習や伝統文化等が根付いていて、地域コミュニティがあるからこそだと思うので、どう評価すればいいのか、人口が増えることがいいことなのか、はたまた移住された方の満足度なのか、アンケートなのか、難しいなと思います。</p>
<p>市原委員</p>	<p>例えば、イジメや差別をしてはいけないということを、小学校1年生の子が分かっているけど、大人になっても出来ない人もいます。教育というのは、人の心を育てていくものですから、点数で評価するというものではないのではないかと思います。また、私たちが子どもの頃と今の教育は全然違うし、これからの5年間も随分変わってくるのではないかと思います。</p>
<p>別府委員</p>	<p>基本方針1重点1について、つい先日の大学入学共通テストでの出題に関し、基礎的な知識の上に、思考力・判断力・表現力が試される問題が出題されたとのことでしたので、ここで反映されればいいと思いました。</p> <p>基本方針2については、イジメや情報モラルいわゆるインターネット関係だと思いますが、「きらら」に美濃市と関市の連合PTAの対談が載ってましたが、さらに活動においても連携してもらえばいいと思いますし、子どもに対してもそうですが、親に対しても対策をしないといけないと思います。</p> <p>基本方針3について、スポーツに関していえば人数が少ないこともあるかもしれませんが、小学校までやっていた競技を中学校になると部活が無い為、やりたくてもやめてしまったりすることがある。美濃市だけで解決しづらい問題だと思いますが、小学校、中学校でスポ少や部活のあり方など、見直してもらえるとありがたいと思っています。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございます。なかなか難しいですが、これが正しかったのかということ、何らかの形で、1年なり3年とか、そういったレベルで評価しないといけないと思っています。この下にアクションプランがありま</p>

	<p>して、それぞれの細かい事業がありますけど、それぞれすべてに指標を設けると大変なことになってしまうので、大まかに基本方針1の重点1については、「学力状況調査の点数について、何点を目指しましょう。」というのを指標にするといったことでいいと思います。</p> <p>そして、中島委員の言われた青少年の関係ですが、市の6次総の中にもありまして、見直す様に指示していますが、10年計画ですので、10年後の目標を決めて、少しずつ上がる右肩上がりになっているが、極端な話、1年で目標値を達成しなければいけないものもあり、色々あるので見直すようにしています。言われたように、参加人数を増やせばいいという話ではなくて、動員かけなくても、意識を持って参加してもらえる人が増えることが大事なんですけど、どういう指標がいいのか中々難しいところです。全部に指標を作る必要はないと思いますが、少なくとも何か目標の指標を定めながら、やり方が正しいか正しくないかというところを出来るだけ見直していかないといけないと思っています。おおまかでも指標を作らないと作っただけで終わってしまう教育大綱では意味がないので、作ったからにはこれに基づいて事業を実施していく中で検証して修正しながらやっていきたいと思っています。3月にもう一度会議を予定していますので、それまでに指標を考えていただいて、決めていけたらと考えています。</p> <p>あと、わたしはあまり平均点に興味がなく、例えば子どもが2人いて、100点の子と0点の子がいて、平均は50点になるんですが、平均点である50点の子はいないんです。それにどういう意味があるのかなと思うんです。でも、やっぱり親は気にしますので指標に入れるのは構わないんですが、母体の数の問題と思っているので、平均点はどうかと思うんですがどうでしょうか。</p>
長瀬委員	<p>単なる平均点ではなくて、色々な数値が出てきますので、それをいかに分析するかが大事だと思います。</p>
市長	<p>「外国語によるコミュニケーション能力」ってどうやって判断するんですか。</p>
市原委員	<p>さあ、よく分からないですね。国際的な英語の基準で、TOEICやTOEFLがありますけど。</p>
市長	<p>学校で子どもたちが、英語を母国語とした外国人と自由に英語を話せる環境はありますか。</p>
学校教育課長	<p>今、小学校と中学校に1名ずつネイティブの方を配置していますので、</p>

	話してみたい子どもたちにとっては、そのような環境は整いつつあります。
市長	小中学校で1名ずつでは少ないので、美濃市内に住んでいる英語の話せる外国人の方に教育外で協力いただくことは出来ないのですか。
学校教育課長	学校運営協議会というのがありまして、学校が地域の方々と一緒に教育活動について検討できるので、地域の方々を交えて、そういった方に依頼するといった流れができれば可能になると思います。
中島委員	過去にそういったことを個人的に当たって頼んでみましたが、美濃市内ではなかなか見つかりませんでした。地域の中にも、英語が話したい方はたくさんいますし日本人同士ではなく外国人と話したいという方が多い。
市長	学校運営協議会はいつから作るんですか。
学校教育課長	今年から作り始める予定でしたが、コロナの状況がありまして、来年度人選等を進めながら、4年度から実施する予定です。
中島委員	いつもやっている評議員会と学校運営協議会は違うんですか。
学校教育課長	はい。違います。評議員会は2校あります。 評議員会は学校の教育活動について意見をいただいて、意見を基に教育活動に活かしていくもので、学校教育法に位置付けられているものです。
市長	こんな小さな市で同じようなものを作ってもいけない。
長瀬委員	ある市は数年前から評議員会をやめて、学校運営協議会に移っていくような話を聞きました。
学校教育課長	仕組みも地域との連携が図れるように、学校によって規模や地域が違いますので、そこにあわせた仕組みを作っていきたいと思っています。
市長	先ほどの話を含めて、3月に最終の会議を行います。それまでにどんな指標があるかを考えて、事前に委員さんに示させていただこうと思います。
教育長	みなさんからのご意見を参考に、この教育大綱をより見やすく理解して

秘書課長	<p>いただきやすくする為に、評価の窓を一つ付け加えて完成版にもっていくつもりです。その時に、数的に表せるものと数的に表しにくいものがありますので吟味をして、中間評価ができるように位置付けていきたいと思えます。また、6次総と教育大綱との関わりについて、チェックをいたしまして、多少の文言修正が出てくるかもしれませんが全てを行って、3月のこの会議にて決定していきたいと思っています。今日は、貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p>それでは、以上で第5回の総合教育会議を閉会といたします。 長時間のご協議をどうもありがとうございました。</p>
------	--